



「心配」を「安心」 に変える

肝・胆道 関連検査	(総・直) ビリルビン	肝・胆道系の障害がわかります。
	A S T (G O T)	肝臓・心臓・腎臓に含まれ、主に細胞が障害を受けると増加します。
	A L T (G P T)	肝臓に多く含まれ、肝障害の有無と程度を反映します。
	A L P	肝機能・黄疸の鑑別・骨の新生状態などがわかります。
	γ -G T P	胆道系疾患で高値を示し、特にアルコール多飲者でその傾向があります。
	L D (L D H)	肝臓・心臓・腎臓など多くの臓器組織に含まれる酵素で、組織が障害を受けると高値になります。
心筋 関連検査	C P K	骨格筋・心筋・脳などに含まれる酵素で、これらの組織細胞に障害があると高値になります。
腎臓 関連検査	尿素窒素 クレアチニン	腎臓から尿中に排出されるため、腎機能を反映します。
脂質 関連検査	中性脂肪	増加すると、肥満や動脈硬化などの原因になります。
	総コレステロール	
	L D L コレステロール	
膵臓関連検査	H D L コレステロール	善玉コレステロールと呼ばれています。動脈硬化性疾患・脂質代謝異常がわかります。
	アミラーゼ (血・尿)	膵臓と唾液腺から分泌され、特に膵炎で高値になります。
糖尿病 関連検査	血糖	血液中に含まれるブドウ糖で、糖尿病の指標になります。
	ヘモグロビン A 1 c	食事の影響を受けにくい糖尿病の指標で、1～2ヶ月前からの血糖のコントロール状態を反映します。
栄養・代謝 関連検査	総蛋白	栄養状態と肝・腎機能の指標になります。
	カルシウム (C a)	内分泌・骨代謝障害、カルシウム異常がわかります。
痛風	尿酸	高値になると痛風 (関節炎) の原因になります。
炎症反応検査	C R P	体内におきている炎症や組織の破壊状態をよく反映する急性期蛋白です。
血液一般 貧血検査	血清鉄 (F e)	貧血や肝細胞の破壊状態などを反映します。
	白血球数	白血病などの血液疾患や炎症性疾患がわかります。
	赤血球数	貧血・多血症がわかります。
	血色素量 (H b)	貧血等の血液疾患がわかります。
	ヘマトクリット (H t)	
	血小板数	貧血や血液疾患などがわかります。
血液型	血液型	A B O 型・R h 型がわかります。
感染症 関連検査	H B s 抗原	慢性肝炎・肝硬変・肝癌などの原因となるB型肝炎ウィルスの抗原検査です。
	H C V 抗体	慢性肝炎・肝硬変・肝癌などの原因となるC型肝炎ウィルスの抗体検査です。
アレルギー 関連検査	特異的 I g E	花粉症・気管支喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎などの原因物質 (アレルゲン) がわかります。
腫瘍マーカー	C E A	多臓器にわたる腫瘍マーカーです。高齢者・長期喫煙者で上昇する場合があります。
	P S A	前立腺癌の検査です。良性の疾患でも上昇する場合があります。
甲状腺 関連検査	F T ₃ F T ₄	甲状腺から分泌されるホルモンで、甲状腺機能を反映します。
	T S H	甲状腺を刺激して、甲状腺ホルモンの分泌を促す働きがあります。甲状腺機能を反映します。

お問い合わせは当院の窓口にお申し付けください。

検査機関

LP バンラボ
Clinical Pathology Laboratory..
[株] クリニカルパソロジー ラボラトリー
鹿児島臨床検査センター